



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社  
 コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	320,558	△5.1	30,937	△21.2	33,901	△9.1	26,228	△3.4	25,719	△3.5	50,480	263.0
2020年12月期第1四半期	337,767	△2.6	39,279	2.8	37,277	△3.4	27,159	0.6	26,665	0.9	13,908	△54.6

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第1四半期	53.61		53.60	
2020年12月期第1四半期	55.45		55.44	

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円	銭
2021年12月期第1四半期	1,604,621		924,137		908,792		56.6		1,906.19	
2020年12月期	1,665,616		938,194		923,687		55.5		1,920.56	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00	
2021年12月期	—					
2021年12月期（予想）		72.00	—	72.00	144.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,430,000	3.5	177,000	0.8	177,000	1.7	127,000	0.7	267.02	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	482,000,000株	2020年12月期	482,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	5,242,913株	2020年12月期	1,054,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	479,743,737株	2020年12月期1Q	480,914,148株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する概要 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(7) 継続企業の前提に関する注記 .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する概要

注：以下、( )付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2021年12月期 第1四半期	3,206	309	9.7	339	262	257	53.61
2020年12月期 第1四半期	3,378	393	11.6	373	272	267	55.45
増減率	(5.1)% 実質 (5.7)%	(21.2)%	—	(9.1)%	(3.4)%	(3.5)%	(3.3)%

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会・経済活動や世界の人々の暮らしに引き続き大きな影響をもたらしています。ワクチンへの期待は高まっていますが、新規感染者数は増加と減少を繰り返し、各国・地域で行われている出入国規制や外出制限及び店舗閉鎖等により消費の回復が遅れる等、世界経済は不透明な状況が続きました。

当社グループの主要市場である日本のコンシューマープロダクツ（化粧品及びトイレタリー）市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、感染症拡大により前年同期で発生した衛生関連製品を中心とした需要拡大の反動を受け、2021年1月から3月において前年を下回りました。トイレタリー商品の平均単価は、大容量化が進み前年同期に対して7ポイント上昇しました。

このような中、売上高は、前年同期に対して5.1%減の3,206億円（実質5.7%減）となりました。営業利益は309億円（対前年同期83億円減）となり、税引前四半期利益は339億円（対前年同期34億円減）となりました。四半期利益は262億円（対前年同期9億円減）となりました。

当第1四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月
米ドル	105.96円[108.95円]
ユーロ	127.74円[120.18円]
中国元	16.35円[15.61円]

注：[ ]内は前年同期の換算レート

## 〔セグメント別の概況〕

当第1四半期で実施した報告セグメントの変更の概要は以下の通りです。（参照P.13（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1. セグメント情報）。

1. ハイジーン&リビングケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類していたファブリックケア製品、ホームケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業のサニタリー製品を組み入れています。
2. ヘルス&ビューティケア事業を新設し、従来、スキンケア・ヘアケア事業に分類していたスキンケア製品、ヘアケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていたパーソナルヘルス製品を組み入れています。
3. ライフケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類されていた業務用衛生製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていた健康飲料を組み入れています。
4. 上記1～3のセグメントの再編により、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。

## セグメントの業績

	売上高				営業利益				
	第1四半期		増減率		第1四半期				増減 (億円)
	2020年 12月期 (億円)	2021年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2020年12月期		2021年12月期		
					(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)	
ハイジーン&リビングケア事業	1,196	1,123	(6.1)	(6.5)	179	15.0	132	11.7	(48)
ヘルス&ビューティケア事業	867	815	(6.0)	(6.3)	134	15.5	113	13.8	(21)
ライフケア事業	115	118	3.0	3.4	3	3.0	8	6.4	4
化粧品事業	591	510	(13.7)	(14.7)	1	0.2	(30)	(5.9)	(31)
コンシューマープロダクツ事業	2,769	2,566	(7.3)	(7.8)	318	11.5	222	8.7	(96)
ケミカル事業	698	731	4.7	3.6	78	11.1	88	12.0	10
小計	3,467	3,297	(4.9)	(5.5)	396	—	310	—	(86)
セグメント間消去又は調整	(89)	(91)	—	—	(3)	—	(0)	—	3
合計	3,378	3,206	(5.1)	(5.7)	393	11.6	309	9.7	(83)

## 販売実績

第1四半期		(億円、増減率%)				
		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2020年	605	110	7	—	722
	2021年	598	97	7	—	702
	増減率	(1.1)	(11.9)	1.7	—	(2.7)
	実質	(1.1)	(12.1)	(10.8)	—	(2.9)
サニタリー製品	2020年	224	251	0	—	475
	2021年	199	221	0	—	421
	増減率	(10.9)	(11.8)	55.4	—	(11.3)
	実質	(10.9)	(13.1)	36.4	—	(12.0)
ハイジーン&リビングケア事業	2020年	829	360	7	—	1,196
	2021年	798	318	7	—	1,123
	増減率	(3.7)	(11.8)	3.3	—	(6.1)
	実質	(3.7)	(12.8)	(9.4)	—	(6.5)
ヘルス&ビューティケア事業	2020年	516	78	184	89	867
	2021年	469	75	182	89	815
	増減率	(9.2)	(2.6)	(1.1)	(0.3)	(6.0)
	実質	(9.2)	(3.7)	0.7	(5.9)	(6.3)
ライフケア事業	2020年	93	0	21	1	115
	2021年	97	0	20	0	118
	増減率	4.2	3.8	(1.2)	(43.6)	3.0
	実質	4.2	(0.4)	1.1	(46.2)	3.4
化粧品事業	2020年	432	103	14	41	591
	2021年	339	122	13	35	510
	増減率	(21.5)	18.1	(5.0)	(14.9)	(13.7)
	実質	(21.5)	13.6	(2.6)	(18.8)	(14.7)
コンシューマープロダクツ事業	2020年	1,871	541	226	131	2,769
	2021年	1,704	515	224	124	2,566
	増減率	(8.9)	(4.8)	(1.2)	(5.1)	(7.3)
	実質	(8.9)	(6.5)	0.2	(10.2)	(7.8)
ケミカル事業	2020年	276	141	121	159	698
	2021年	285	170	107	168	731
	増減率	3.3	20.7	(11.9)	5.6	4.7
	実質	3.3	19.4	(8.6)	(0.6)	3.6
セグメント間売上高の消去	2020年	(78)	(7)	(0)	(5)	(89)
	2021年	(79)	(8)	(0)	(5)	(91)
売上高	2020年	2,070	675	348	286	3,378
	2021年	1,910	677	331	288	3,206
	増減率	(7.7)	0.3	(4.9)	0.7	(5.1)
	実質	(7.7)	(1.3)	(2.8)	(5.0)	(5.7)

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の41.1%から43.1%となりました。

## コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して7.3%減の2,566億円（実質7.8%減）となりました。

感染症拡大により、前年同期に発生した衛生関連製品を中心とした需要拡大の反動で、さまざまなカテゴリーで市場が縮小しました。さらに各国・地域で行われたロックダウンや緊急事態宣言の影響を受けました。

日本の売上高は、前年同期に対して8.9%減の1,704億円となりました。

アジアでは、売上高は4.8%減の515億円（実質6.5%減）となりました。

米州の売上高は、1.2%減の224億円（実質0.2%増）となり、欧州の売上高は、5.1%減の124億円（実質10.2%減）となりました。

営業利益は、222億円（対前年同期96億円減）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

### 【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、日本やアジアで感染症拡大によって、前年に発生した需要拡大の反動の影響を大きく受け、前年同期に対し6.1%減の1,123億円（実質6.5%減）となりました。

ファブリックケア製品は、日本ではコロナ禍における清潔意識の高まりの影響もあり、衣料用洗剤の売り上げは堅調に推移しましたが、アジアでは前年を下回りました。

ホームケア製品は、日本では台所用漂白剤や住居用洗浄剤等の衛生関連製品で市場全体が縮小し、売り上げは減少しましたが、アジアでは引き続き好調に推移しました。

サニタリー製品は、生理用品「ロリエ」は、中国で順調に売り上げを伸ばしましたが、日本では前年同期に比べ市場が大幅に縮小し、売り上げは大きく減少しました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は中国で前年同期を下回りましたが、全体としては、ほぼ計画通り推移しました。

営業利益は、132億円（対前年同期48億円減）となりました。

### 【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、衛生関連製品を中心に、前年同期の需要拡大の反動が影響したこと等で、前年同期に対して6.0%減の815億円（実質6.3%減）となりました。

スキンケア製品は、日本では前年同期にハンドソープ等の衛生関連製品の市場が大幅に拡大した反動により、売り上げは減少しましたがシェアは伸長しました。米州では前年同期の高い需要の反動がありました。

ヘアケア製品は、売り上げは減少しました。日本では市場の回復が遅れており、また欧米のヘアサロン向け製品は、欧州でロックダウンの影響を受けましたが、米国の「Oribe（オリベ）」が、Eコマースを中心に好調に推移したこと等により、売り上げは伸長しました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、前年同期を下回りました。巣ごもり需要により入浴剤は好調に推移しましたが、インバウンド需要が減少した影響を受けました。

営業利益は、113億円（対前年同期21億円減）となりました。

### 【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.0%増の118億円（実質3.4%増）となりました。

業務用衛生製品は、日本では感染症拡大が継続し、衛生管理や感染症対策が特に必要な医療関連施設や飲食店等で、手指消毒液等の需要が高まり、売り上げは伸長しました。米州では対象業界の回復もあり、売り上げは前年同期を上回りました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」が、緊急事態宣言が延長したこと等で市場が伸び悩み、売り上げは前年同期に比べて減少しました。

営業利益は、増収効果により8億円（対前年同期4億円増）となりました。

### 【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して13.7%減の510億円（実質14.7%減）となりました。

化粧品事業は、日本ではインバウンド需要が消滅し、さらに緊急事態宣言の延長等が影響したことで、市場の回復が遅れ、売り上げは大きく減少しました。欧州では、ロックダウンに伴う店舗閉鎖の影響を受けました。一方、アジアでは中国で「フリープラス」や「キュレル」が引き続き好調に推移し、売り上げは大きく伸長しました。

営業利益は、30億円の損失（対前年同期31億円減）となりました。

## ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して4.7%増の731億円（実質3.6%増）となりました。

油脂製品では、殺菌や洗浄用途の油脂誘導体製品が堅調に推移したことに加えて、天然油脂価格の上昇に伴う販売価格の改定に努めたこともあり、売り上げは伸長しました。

機能材料製品は、自動車関連分野等での需要回復の動きも受けて、堅調に推移しました。

スペシャルティケミカルズ製品では、一時の市場低迷からは回復傾向にあるものの、トナー・トナーバインダーが需要減少の影響を受けて、売り上げは減少しました。

営業利益は、88億円（対前年同期10億円増）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大により不透明な経営環境が続くことが予想されますが、今期からスタートした5ヵ年にわたる花王グループ中期経営計画「K25」の戦略を着実に実行し、公表数値の達成を目指していきます。従いまして、2021年2月3日に公表した連結業績予想は変更していません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、107円／米ドル、127円／ユーロ、16円／中国元です。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	353,176	276,344	(76,832)
営業債権及びその他の債権	200,087	185,439	(14,648)
棚卸資産	197,641	218,288	20,647
その他の金融資産	7,257	6,397	(860)
未収法人所得税	2,085	4,322	2,237
その他の流動資産	18,150	20,061	1,911
流動資産合計	778,396	710,851	(67,545)
非流動資産			
有形固定資産	430,914	433,514	2,600
使用権資産	149,543	145,840	(3,703)
のれん	177,031	181,273	4,242
無形資産	48,256	50,130	1,874
持分法で会計処理されている投資	8,657	7,917	(740)
その他の金融資産	23,608	24,484	876
繰延税金資産	42,274	43,560	1,286
その他の非流動資産	6,937	7,052	115
非流動資産合計	887,220	893,770	6,550
資産合計	1,665,616	1,604,621	(60,995)



	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	215,842	206,665	(9,177)
社債及び借入金	30,465	20,598	(9,867)
リース負債	19,787	19,490	(297)
その他の金融負債	6,571	3,268	(3,303)
未払法人所得税等	28,109	11,861	(16,248)
引当金	1,811	1,452	(359)
契約負債等	23,098	23,178	80
その他の流動負債	99,721	87,018	(12,703)
流動負債合計	425,404	373,530	(51,874)
非流動負債			
社債及び借入金	97,229	107,128	9,899
リース負債	126,725	123,191	(3,534)
その他の金融負債	7,862	7,733	(129)
退職給付に係る負債	51,858	50,289	(1,569)
引当金	9,175	9,212	37
繰延税金負債	4,584	4,775	191
その他の非流動負債	4,585	4,626	41
非流動負債合計	302,018	306,954	4,936
負債合計	727,422	680,484	(46,938)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	106,618	106,618	—
自己株式	(3,865)	(34,307)	(30,442)
その他の資本の構成要素	(43,376)	(19,976)	23,400
利益剰余金	778,886	771,033	(7,853)
親会社の所有者に帰属する持分合計	923,687	908,792	(14,895)
非支配持分	14,507	15,345	838
資本合計	938,194	924,137	(14,057)
負債及び資本合計	1,665,616	1,604,621	(60,995)

## (2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第1四半期	当第1四半期	増減
		連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	337,767	320,558	(17,209)
売上原価		(193,432)	(189,822)	3,610
売上総利益		144,335	130,736	(13,599)
販売費及び一般管理費	2	(106,243)	(100,688)	5,555
その他の営業収益		4,383	3,994	(389)
その他の営業費用		(3,196)	(3,105)	91
営業利益	1	39,279	30,937	(8,342)
金融収益		560	2,803	2,243
金融費用		(3,277)	(665)	2,612
持分法による投資利益		715	826	111
税引前四半期利益		37,277	33,901	(3,376)
法人所得税		(10,118)	(7,673)	2,445
四半期利益		27,159	26,228	(931)
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		26,665	25,719	(946)
非支配持分		494	509	15
四半期利益		27,159	26,228	(931)
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		55.45	53.61	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		55.44	53.60	

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	27,159	26,228	(931)
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	(454)	261	715
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(266)	213	479
純損益に振り替えられることのない項目合計	(720)	474	1,194
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	(12,520)	23,530	36,050
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(11)	248	259
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	(12,531)	23,778	36,309
税引後その他の包括利益	(13,251)	24,252	37,503
四半期包括利益	13,908	50,480	36,572
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	14,364	49,309	34,945
非支配持分	(456)	1,171	1,627
四半期包括利益	13,908	50,480	36,572

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	85,424	108,715	(4,309)	448	(39,630)	—	6,208
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	(11,580)	(2)	(719)
四半期包括利益	—	—	—	—	(11,580)	(2)	(719)
自己株式の処分	—	—	119	(55)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(6)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	82	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	(178)
所有者との取引等合計	—	82	113	(55)	—	—	(178)
2020年3月31日残高	85,424	108,797	(4,196)	393	(51,210)	(2)	5,311

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	合計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	(32,974)	700,839	857,695	13,726	871,421
四半期利益	—	26,665	26,665	494	27,159
その他の包括利益	(12,301)	—	(12,301)	(950)	(13,251)
四半期包括利益	(12,301)	26,665	14,364	(456)	13,908
自己株式の処分	(55)	(63)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(6)	—	(6)
株式に基づく報酬取引	—	—	82	—	82
配当金	—	(31,260)	(31,260)	(772)	(32,032)
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(178)	178	—	—	—
所有者との取引等合計	(233)	(31,145)	(31,183)	(772)	(31,955)
2020年3月31日残高	(45,508)	696,359	840,876	12,498	853,374

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	85,424	106,618	(3,865)	268	(49,368)	(0)	5,724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	23,115	1	474
四半期包括利益	—	—	—	—	23,115	1	474
自己株式の処分	—	—	97	(54)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(30,539)	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	(136)
所有者との取引等合計	—	—	(30,442)	(54)	—	—	(136)
2021年3月31日残高	85,424	106,618	(34,307)	214	(26,253)	1	6,062

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	合計	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日残高	(43,376)	778,886	923,687	14,507	938,194
四半期利益	—	25,719	25,719	509	26,228
その他の包括利益	23,590	—	23,590	662	24,252
四半期包括利益	23,590	25,719	49,309	1,171	50,480
自己株式の処分	(54)	(42)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(30,539)	—	(30,539)
配当金	—	(33,666)	(33,666)	(333)	(33,999)
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(136)	136	—	—	—
所有者との取引等合計	(190)	(33,572)	(64,204)	(333)	(64,537)
2021年3月31日残高	(19,976)	771,033	908,792	15,345	924,137

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	37,277	33,901
減価償却費及び償却費	21,426	21,704
受取利息及び受取配当金	(492)	(317)
支払利息	796	529
持分法による投資損益(益)	(715)	(826)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	495	458
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	9,224	21,336
棚卸資産の増減額(増加)	(6,062)	(15,375)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(9,289)	(11,578)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(1,236)	(2,098)
その他	(7,312)	(22,569)
小計	44,112	25,165
利息の受取額	450	325
配当金の受取額	2,059	2,092
利息の支払額	(714)	(502)
法人所得税等の支払額	(39,345)	(27,599)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,562	(519)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(1,737)	(673)
定期預金の払戻による収入	3,843	1,774
有形固定資産の取得による支出	(19,686)	(16,117)
無形資産の取得による支出	(3,791)	(2,383)
その他	71	1,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	(21,300)	(15,996)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(41)	140
長期借入による収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	(13)	(10,389)
リース負債の返済による支出	(5,344)	(5,229)
自己株式の取得による支出	(8)	(30,539)
支払配当金	(30,766)	(32,940)
非支配持分への支払配当金	(3)	(3)
その他	(6)	(5)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(36,181)	(68,965)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(50,919)	(85,480)
現金及び現金同等物の期首残高	289,681	353,176
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(3,759)	8,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	235,003	276,344

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、コンシューマープロダクツ事業部門を構成する4つの事業分野（ハイジーン&リビングケア事業、ヘルス&ビューティケア事業、ライフケア事業、化粧品事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2021年1月1日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「化粧品事業」、「スキンケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5区分としていた報告セグメントを、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報 告 セ グ メ ン ト		主 要 製 品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	高級アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用混和剤、道路用薬剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー、トナーバインダー、水性インクジェット用顔料インク、香料	

## (2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	119,631	86,716	11,471	59,089	276,907	60,860	337,767	—	337,767
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	8,908	8,908	(8,908)	—
売上高合計	119,631	86,716	11,471	59,089	276,907	69,768	346,675	(8,908)	337,767
営業利益 (又は損失)	17,948	13,420	349	112	31,829	7,773	39,602	(323)	39,279
金融収益									560
金融費用									(3,277)
持分法による投資利益									715
税引前四半期利益									37,277

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(323)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	112,295	81,545	11,816	50,993	256,649	63,909	320,558	—	320,558
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	9,141	9,141	(9,141)	—
売上高合計	112,295	81,545	11,816	50,993	256,649	73,050	329,699	(9,141)	320,558
営業利益 (又は損失)	13,181	11,293	755	(3,015)	22,214	8,759	30,973	(36)	30,937
金融収益									2,803
金融費用									(665)
持分法による投資利益									826
税引前四半期利益									33,901

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(36)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。



## 2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	16,137	14,594
販売促進費	12,502	10,050
従業員給付費用	37,394	38,205
減価償却費	4,626	4,602
償却費	2,153	2,104
研究開発費	15,110	14,908
その他	18,321	16,225
合計	106,243	100,688

## (7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。